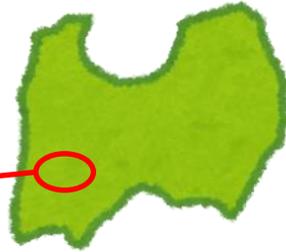


産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(R2年度:計画作成主体:南砺市農業再生協議会) (富山県)

取組の概要

- 対象品目 : かき
 取組主体 : (農)富山あんぽ柿共同加工センター
 成果目標 : 10aあたり販売額の10%以上の増加
 基準 (R1年度) 538,357円/10a
 目標 (R4年度) 592,193円/10a
 導入施設等 : 加工施設
 (建屋、皮むき機、乾燥機、計量機、
 包装機、付帯設備一式)



富山県南砺市
城端地区・福光地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

富山干柿産地は、富山県を代表する果樹産地である。近年、高齢化等により、生産者が減少しており、未収穫の柿樹園地が増加している。そのため、担い手への柿園地の集約を進め、園地管理を行うとともに、加工施設整備により加工作業の省力化と柿加工品の品質の平準化を図り、一層のブランド力向上を図る。

加工施設利用で大幅に削減された労働時間を集約園地での原料柿収穫と干柿加工にまわすことで、産地全体の柿加工品の生産量を増加させるとともに、最新の機械の導入により、厳密な温湿度管理を行うことで、品質向上を図る。また、品質向上により単価向上が期待できる海外仕向等の需要に応えていくことで、農家の所得向上につなげる。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ①担い手への園地集積による効率化と生産量確保
- ②担い手の育成による経営規模拡大
- ③加工施設の整備による生産力強化
- ④輸出量の増加による売り上げの拡大

産地体制

市場等へ出荷

県農林
振興セ
ンター
市・JA
等関係
機関

指導・助言

(農)富山干柿出荷組合連合会

(農)富山あんぽ柿
共同加工センター
(園地受託・あんぽ
柿加工)

各生産者

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・あんぽ柿、干柿の輸出拡大の取組
- ・食品安全規格の取得
- ・インターンや農業体験研修の実施
- ・地元菓子店等との新商品開発

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①10aあたり販売額の向上
- ②上位等級比率の向上

【事業実施による間接効果】

- ①品質の高位安定化による産地ブランドの向上
- ②新規就農者の確保



**販売額が
24%増加
(達成率240%)**

